

講演会

未来へ手渡す HOUSING POLICY

—大阪の住宅・まちづくり政策史から

講師 北山 啓三氏（元大阪市副市長）

日時：2017年6月17日（土） 14時～15時40分
（受け付け開始 13時30分）

会場：梅田スカイビル・タワーウエスト 22階 A会議室
大阪市北区大淀中 1-1、JR大阪駅から北西約500m

講演要旨

大阪は、近世には優れた町家・長屋が立ち並び、かつモジュールが統一されていた。また町並みのコントロールや橋等の維持管理も町人自治で行われるなど極めて先進的であった。近代になっても關一市長は住宅問題を都市計画の基本として重視し、国に先駆けて政策提案を行い、我国の住宅政策の源流といえる存在であった。戦後復興期の大変な努力により、大阪市の公共住宅ストックは現在全国的にも最上位にある。近年には、人口回復のための政策や密集住宅市街地整備、住まい情報センターや住まいのミュージアム、歴史を生かしたHOPEゾーン事業、マンション管理支援機構など多様な政策を展開してきている。大都市大阪において、その時々課題に住宅・まちづくり行政としてどのように議論し対処してきたのか「住宅・まちづくり政策」の歴史を通史的に紹介する。



講師略歴

昭和22年和歌山県に生まれる。京都大学工学部建築学科卒業、同大学院修了後、昭和48年に大阪市に入庁。住宅政策課長、都市整備局長、大阪市副市長などを歴任。現在積水化学工業環境・ライフラインカンパニー顧問。大阪市在任中は、住宅・まちづくり政策の骨格づくりに携わる。

協賛：積水ハウス株式会社、積水ハウス梅田オペレーション株式会社

参加費：無料、申し込み不要 定員：100名

問い合わせ先：西山記念文庫

Email: npo@n-bunko.org 電話・FAX 0774-73-5701